
内子町環境報告書 2025

— キラリと光るエコロジータウン内子 —

中間まとめ

1. 環境トピック

(1) 第3次内子町環境基本計画

アクションプラン策定市民会議

令和7年6月に策定した「第3次内子町環境基本計画」の実現に向け、それぞれが「自分ごと」として実施すべき行動を考える「環境基本計画アクションプラン策定市民会議」を開催しました。

会議は、環境基本計画の取り組みの柱である「脱炭素化」「自然」「暮らし」「環境教育」のテーマに合わせて、計4回実施しました。町民・企業・高校生・大学生など様々な主体が参加し、日常生活や事業活動の中で無理なく取り組める行動や、地域課題の解決と両立できる取組について活発な意見交換が行われました。その結果、各主体がとるべき具体的な行動案（アクションプラン）が101項目提案されました。



市民会議の様子

<p>第1回 脱炭素化</p> <p>日 程：2025年9月27日(土) 9:00～12:00 会 場：内子自治センター 参加者数：17名</p> <p>講師 折野 未莉氏(株式会社ウェザーニューズ) 内藤 昌典氏(有限会社内藤鋼業)</p>	<p>第2回 自然</p> <p>日 程：2025年10月25日(土) 9:00～12:00 会 場：COWORKING-HUB nanyo sign(南予サイン) 参加者数：18名</p> <p>講師 河野 裕之氏 (NTTビジネスソリューションズ株式会社)</p>
<p>第3回 暮らし</p> <p>日 程：2025年11月15日(土) 9:00～12:00 会 場：内子町森林組合小田支所 参加者数：17名</p> <p>講師 中村 優理子氏 (松山市環境部環境モデル都市推進課)</p>	<p>第4回 環境教育と取りまとめ</p> <p>日 程：2025年12月13日(土) 9:00～12:30 会 場：五十崎風博物館 参加者数：15名</p> <p>講師 河野 裕之氏 (NTTビジネスソリューションズ株式会社)</p>

[脱炭素化分野]

(2) 脱炭素経営支援

脱炭素に関する取り組みを支援する、町内企業向けのプログラムを実施しました。この事業では、企業が脱炭素に向けた取り組みを「見える化」するための第1歩を支援します。脱炭素だけでなく、燃料費高騰や担い手不足などの地域・経営課題の解決などにも寄与します。

「意識変容プログラム」は、脱炭素の基礎について体感的に知ることができるカードゲームを使ったプログラムです。

「行動変容プログラム」では、自社のCO2排出量の算定方法や先進事例などを学び、コスト削減や人材獲得などにつなげることを目指します。

次年度以降も継続し、伴走体制の強化や、学生と企業との人材マッチングにもつなげていきたいと考えています。



脱炭素カードゲームを終えて

脱炭素の基礎について知る 「意識変容プログラム」		脱炭素経営を人材獲得に活用する方法を学ぶ 「行動変容プログラム」	
日時	R7年12月10日 13時30分- } 全1回/2.5時間	日時	第1回 R7年12月23日 13時30分- } 全2回/各2.5時間 第2回 R8年1月20日 13時30分-
場所	内子町共生館 会議室1 (1階)	場所	内子町共生館 会議室1 (1階)
ファシリテーター	今治市 環境政策課 住古 淳氏	ファシリテーター	東京海上日動火災保険株式会社 愛媛支店
プログラムの内容	<ul style="list-style-type: none">脱炭素の基礎に関する講義参加者でカードを交換しながら、地域の脱炭素化を目指すシミュレーションゲーム	プログラムの内容	<ul style="list-style-type: none">脱炭素経営、GHG排出量算定方法に関する講義・実践人材獲得につながる社外への取組情報の開示排出量に対し実効性の高い削減計画の作成を行うワーク
参加により得られるもの	<ul style="list-style-type: none">気候危機や脱炭素に関する基礎知識が身につく脱炭素化を推進するためには具体的に何をすべきなのかがわかる	参加により得られるもの	<ul style="list-style-type: none">以下を通じて、脱炭素を人材獲得につなげる一歩を踏み出せます!<ul style="list-style-type: none">自社の排出量算定 - 具体的な事例紹介脱炭素と一緒に取り組む地域の仲間 等

[自然分野]

(3) 小田深山自然林再生事業の自然共生サイト認定

小田深山「千年の森公園」における「小田深山自然林再生事業」が、令和7年12月に「自然共生サイト」に認定されました。

自然共生サイトとは、「自治体や民間企業等の取り組みによって生物多様性の保全が図られている区域」を主務大臣

(環境大臣・農林水産大臣・国土交通大臣)が認定する制度です。令和4年12月に開かれた生物多様性条約第15回締約国会議(CBD-COP15)において、生物多様性の損失を止め、回復させるために、2030年までに陸と海のそれぞれ30%以上を保全しようという「30by30(サーティ・バイ・サーティ)」目標が掲げられました。この目標達成のためには、行政だけでなく民間企業や地域の団体などによる取り組みを進めていくことが大切です。「小田深山自然林再生事業」では、かつて小田深山に存在していた原生的なブナ林の回復を目指します。



(4) 自然観察会

内子町はESD推進事業(Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育)の一環として、NPO法人内子未来づくりネットワークと協働し、自然観察会を実施しています。水生生物の観察を通して河川の水質を考える学習のほか、近年は野鳥観察にも力を入れており、身近な自然環境への興味関心を育む取り組みとして今後も継続していきます。

□水生生物観察会

6/30	小田川	五十崎小4年生
7/31	小田深山溪谷	内子児童クラブ
9/8	麓川上流	石畳小全校生
9/18	小田川(知清河原)	内子小4年生
10/24	小田川	大瀬小3・4年生
10/29	小田川上流	小田小全校生
10/30	中山川	立川小全校生



小田川の水生生物観察会

□野鳥観察会

6/23	内子小4年生	9/10	五十崎小3年生
7/7	石畳小学校	9/12	天神小4年生
7/11	大瀬小学校	9/24	立川小学校
		10/2	小田小学校

[暮らし分野]

(5) ごみ出し困難者支援戸別収集事業

高齢や障がいなどのため日常のごみ出しが困難な世帯を対象に、令和7年10月からごみ出し支援事業を試行しています。

週1回、分別したごみを指定のごみ袋に入れて玄関先に出していただき、戸別に収集に伺います。

令和8年3月時点の利用登録は14件です。



戸別収集の様子

(6) ごみ処理手数料の改定等

令和7年10月から、ごみ処理にかかる手数料等の一部を改正しました。ごみの排出量削減やリサイクルの推進を図り、循環型社会の形成に向けて引き続き取り組んでいきます。

□クリーンセンターへの持込手数料

改定前	改定後
持込 100kg 未満 →300 円 以降 100kg ごとに 300 円を加算	持込 50kg 未満 →500 円 以降 10kg ごとに 100 円を加算

□粗大ごみ収集

①特定家電4品目の処理方法

特定家電4品目（「テレビ」「冷蔵庫・冷凍庫」「洗濯機・衣類乾燥機」「エアコン」）について、町が行う粗大ごみ収集の対象品目から除外しました。

今後は、家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に基づき、各自で小売業者や専門業者に依頼して処分していただくこととなります。

②収集運搬手数料

町が年4回行う粗大ごみ収集で、自宅等へ収集に伺う場合は、1回につき2,000円の収集運搬手数料が加算されます。

[環境教育分野]

(7) 令和7年度内子町環境こども会議

町内の小・中学生 約260人が参加して、環境こども会議が開催されました。

小学生の部では、8グループに分かれて体験学習を実施しました。普段はできない体験を楽しみながら、前向きに取り組む姿が見られました。

中学生の部では、再エネをテーマに学習。太陽光パネルを用いたエコハウス作りのワークショップなども行いました。

全体会では「脱炭素」をテーマとし、一人ひとりの環境意識の高まりが持続可能な社会の実現には欠かせないことを学びました。



豆腐・おからドーナツ作り



全体会の様子

—実施日— 令和8年2月10日

—実施場所— 内子町共生館

—実施内容—

□小学生の部

廃食油石けん作り	環境 NPO サン・ラブ
豆腐・おからドーナツ作り	程内こんにゃく芋グループ
T シャツマイバッグ作り	NPO 法人内子未来づくりネットワーク
ツリークライミングに挑戦!	(有)井口農園
小田深山やまなみネイチャーランド	内子町役場小田支所
考えてみよう、水について	(公財)愛媛県浄化槽協会
あかりのエコ教室	Panasonic(株)エレクトリックワークス社
伝統工芸の組子細工体験	内子手しごとの会

□中学生の部

エコハウスで学ぶ 再生可能エネルギー	(株) 武田林業
-----------------------	----------

□全大会

脱炭素について	(株) 武田林業
---------	----------

(8) うちっこエコひろば

今年度初の試みとして、町内すべての幼稚園・保育園の年長児が一堂に会し、「エコ」をテーマにさまざまな遊びを体験する「うちっこエコひろば」を開催しました。

リサイクルマークをたどる迷路や海洋プラスチックごみ問題を考える魚釣りゲームなど、3つのコーナーを準備。ペットボトルビーズ作りは、上手に丸まらず失敗が続出しましたが、みんなで楽しく遊ぶことができました。

本事業は次年度以降も継続して実施したいと考えており、内容の充実を図っていきます。

—実施日— 令和8年2月10日

—実施場所— 内子町共生館

—実施内容—

○リサイクルマーク迷路

& プラごみの海から魚を助けよう！

○葉っぱのおてがみ

○ペットボトルビーズ作り



分かれ道では
リサイクルマークを選んで進んでね



プラごみを釣り上げて
きれいな海にしよう！



「ハガキの木」といわれる
タラヨウの葉を使ってメッセージ

3. 内子町環境マネジメントシステム“うちエコ” 取り組み状況

(1) “うちエコ”とは

内子町は、「第3次内子町環境基本計画」や「内子町地球温暖化対策実行計画事務・事業編（第6次内子町エコオフィスプラン）」に沿って、各種の環境施策を展開しています。そしてこれらの計画を着実に実行していくため、内子町環境マネジメントシステム“うちエコ”により取り組みの進行管理を行っています。

“うちエコ”は、環境自治体会議が自治体向けに開発した環境マネジメントシステム「※1環境自治体スタンダード LAS-E（ラス・イー：Local Authority's Standard in Environment）」を土台とし、さらに内子町に適した内容となるよう独自に構築したものです。「住民参加の環境づくり」の理念の下、町民との協働による「エコロジータウン内子」の実現を目指します。

“うちエコ”の運用を通して「PLAN（計画・目標）」－「DO（実行）」－「CHECK（点検・評価）」－「ACTION（見直し）」のサイクルを明確にし、これを繰り返すことで、取り組みの継続的な改善を図ります

(2) 令和7年度 うちエコ監査

本年度のうちエコ監査では、質問内容も一部一新し、一般職員への質問も行いました。担当職員のみならず、部署全体の意識を知ることができました。なお例年と同様に、町の環境政策にかかる研修の一環として、新規採用職員が監査に参加しました。

①監査の日程・方法

監査日程

推進本部	令和8年1月21日（水）
実行部門等	令和8年1月26日（月）
全体協議	令和8年1月27日（火）

監査方法

監査員による聞き取り監査、現場（執務室・教室等）の見回り

②対象部署

NO.	区 分	部 署 名 等
1	推進本部	町長
		副町長
		教育長
2	実行部門	総務課
3		会計課
4		保険センター
5		内子総合窓口センター
6		立川小学校
7		天神小学校
8		五十崎中学校
9		小田中学校
10		内子学校給食センター
11		小田学校給食センター
12		八日市・護国町並保存センター
13		参川福祉間
17		事務局

③監査結果

1) 総合所見

令和7年度のうちエコ監査は、推進本部、実行部門12部署、事務局、計14の部署等を対象に実施しました。いずれの部署等においても、事前に十分な準備を行われており、当日は質問等に丁寧にお答えいただいたことで、取り組みの状況を具体的に把握することができました。ご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

監査の評価方法は、取り組みの内容や目標の達成状況について、☆（特に優れた取り組み）、◎（良好な取り組み）、○（取り組んでいる）、△（改善要望事項）、×（勧告事項）の5段階で判断しました。その結果、☆4個、◎17個、△・×0個となりました。全ての監査部署においてマイナス評価が無いのは、平成28年度以来のことです。

業務上可能な範囲での節電や節水の徹底、エコドライブ、紙の使用量削減等の基本的な取り組みの定着がうかがえるとともに、独自の工夫や新たな取り組みなども複数見られ、うちエコ活動の広がりが感じられたことから、全体的に高い評価となりました。

特に「☆」評価がついた部署等では、AIを活用したわかりやすい教材の作成、独自の企画による地域や企業等と連携した学習・体験活動の実施、所管施設の光熱水費等をオリジナルのグラフにまとめて変化を把握するといった工夫など、これまでに見られなかった取り組みがありました。

一方で、過去2年にわたり指摘してきた独自目標のマンネリ化については、一部の部署等で見直しが行われていたものの、過年度と全く同じ目標を掲げられているところも少なくありませんでした。継続して取り組む重要性は理解しますが、取り組みの進捗に応じて目標値を上げる、内容自体を見直すなど、より前向きな目標設定を望みます。

「ゼロカーボンシティうちこ」の実現に向けては、従来の取り組みに加えて、さらにレベルの高い取り組みが求められます。

例えば、部署単独での取り組みだけではなく、他の部署等と連携して新たな調達の仕組みをつくる、町施設全体で効率的な改修計画を立てるなど、一步進んだ展開も必要ではないかと考えます。また、デジタルを活用し、取り組みの進捗を随時共有できるような見える化システムの導入も望まれるところです。

そして、これらの取り組みを行政だけが行うのではなく、町民や企業など町全体にいかを広げていくかが最も重要となります。本年度から企業を対象とした新たな事業などもスタートされていますが、今後一層のうちエコの推進を期待します。

2) 評価結果

(1) 推進本部

	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	町長・副町長・教育長／方針の設定・周知		1					
2	町長／環境基本計画の推進（協議・指示）			1				
3	町長／EMS の運用・改善			1				
4	副町長／エコオフィスの推進			1				
5	副町長／エコオフィスの推進		1					
6	教育長／環境教育の推進（環境学習）			1				
7	教育長／環境教育の推進（地域の環境活動）			1				
合 計		0	2	5	0	0	0	0
達 成 率（○以上の項目／全7問）		100%						

(2) 実行部門

	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	後期個別対策シートの内容と実施状況		4	8				
2	独自目標の内容と達成見込、その改善	1	2	9				
3	エコオフィスの推進（光熱水量全般）			12				
4	エコオフィスの推進（グリーン購入）			12				
5	町民や事業者等との連携	1	2	9				
6	公共事業における環境配慮	2	2	8				
7	職場での情報共有		2	10				
8	全般（その他取り組みの工夫）						12	
9	ゴミの削減について						12	
10	地域環境への関心						12	
合 計		4	12	68	0	0	36	0
達 成 率（○以上の項目／全10問×18部署） ※該当なし項目（一）を除く		100%						

(3) 事務局

	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	基本方針の周知・理解			1				
2	環境に関する定期的研修		1					
3	首長との協議			1				
4	目標達成状況の公開			1				
5	指摘事項の改善			1				
6	全般（取り組みの工夫・改善）		1					
7	システム全般（うちエコの運用）		1					
8	システム全般（監査の工夫・改善）			1				
9	システム全般（監査の評価）			1				
10	システム全般（監査の報告）			1				
合 計		0	3	7	0	0	0	0
達成率（○以上の項目／全10問） ※該当なし項目（—）を除く		100%						



監査の様子



全体協議

(3) エコ見回り

内子町では園児や小学生などが役場などの施設を訪問し、電気や水の節約、紙ごみの分別などをどのように実践しているのかを見て学習する「エコ見回り」を行っています。

— 実施内容 —

○内子小学校2年生のエコ見回り

実施日：2月19日（木）

訪問先：内子町商工会

公益財団法人内子町国際交流協会

町並・地域振興課

NPO法人 環境NPO サン・ラブ

内子町図書情報館

内子自治センター

内子東自治センター

内 容：職場インタビューと

電気・水・紙ごみ分別の見回り



NPO法人 環境NPO サン・ラブ



内子東自治センター

○五十崎こども園年長児のエコ見回り

実施日：2月27日（金）

訪問先：内子町役場 本庁舎

五十崎自治センター

内 容：電気・水の見回り

啓発ステッカーの掲示



五十崎自治センター

○天神小学校2年生のエコ見回り

実施日：3月5日（木）

訪問先：建設デザイン課

保健センター

五十崎自治センター

五十崎凧博物館

内 容：職場インタビューと

電気・水・紙ごみ分別の見回り



建設デザイン課

(4) 数値目標評価結果

※以降まとまり次第掲載